

小金井雑学大学 ここ2年間の講義一覧

平成15年

多くの分野にわたって問題を取り上げてみました

	回数	月 日	講 義 名
1	111	1月19日	地震の基礎知識
2	112	2月2日	漢字・漢語の話 その昔と今
3	113	16日	食の安全と安心
4	114	3月2日	バリアフリーからユニバーサルデザインへ
5	115	16日	産官学連携推進といくつかの提案
6	116	4月6日	ことわざは生きものだ！！
7	117	20日	ステピアと糖尿病などについて
8	118	5月4日	今日は一日市内を歩こう
9	119	18日	映画から学んだ人生
10	120	6月1日	スライドで見る万葉集
11	課外	4日	湯島聖堂の見学とグルメ探索
12	121	15日	メディアも反響大きな広がりを見せる五行歌
13	122	7月6日	動物の親子の愛情
14	123	20日	社会の変化と教育の対応
15	124	8月3日	身の回りの危険物火災事例に学ぶ
16	125	17日	みんなに愛されるラジオ体操
17	126	9月7日	生活習慣病と運動療法
18	127	21日	ディアスポラ（離散の民）となったユダヤ人
19	128	10月5日	介護保険 — その現況と将来像
20	129	19日	明治における西洋音楽の幕開け『君が代』は五つあった！
21	130	11月2日	会計帳簿作成に挑戦
22	課外	9日	野川の遺跡から深大寺へ
23	131	16日	予防医学こそ健康への王道！
24	132	12月7日	郷土の歴史身近な地名とその由来一
25	133	21日	21世紀、日本は“世界のアトリエ”へ

平成16年

時流に沿った展開にも問題意識を見出してみました

	回数	月 日	講 義 名
1	134	1月 18日	論 語 の 読 み 方
2	135	2月 1日	ピン・シャン・コロリのすすめ
3	136	15日	作 家 浅 田 次 郎 と 私
4	137	3月 7日	自然との共生—地球環境を守るのは次世代への責任
5	138	21日	続・苗字の話あれこれ
6	139	4月 4日	未来工学のヒントは身の回りに
7	140	18日	戦後の世界情勢とそその変化に対応する我が国の安全保障
8	141	5月 2日	多摩墓地に眠る著名人の墓を訪ねる
9	142	16日	人生を勇気づける言葉『ありがとう』を大切に
10	143	6月 6日	スライドで見る『文学とすみれ』赤人から漱石まで
11	144	20日	脳 梗 塞 の 話
12	145	7月 4日	おばあちゃんの知恵に学ぶ家庭教育
13	146	18日	コンピュータって万能なの？
14	147	8月 1日	知って得する！知らなくて損する？大事なお金の守り方
15	148	15日	ナポレオンの登場
16	149	9月 5日	相続・贈与の節税基礎知識
17	150	19日	蛇 の 功 罪
18	151	10月 3日	イラクテロの原点は聖書にあり
19	152	17日	消費者は狙われている
20	153	11月 7日	横須賀海軍工廠の前史
21	154	21日	武蔵国と小金井—生活習慣の中にある『神道』—
22	課外	30日	日銀本店と日本橋グルメ探索
23	155	12月 5日	四字熟語の背後にあるもの—物語・哲学・文学—
24	156	19日	ラジオ・テレビの音響効果

『こんな講義を聴いてみたい』などのご意見をお寄せ下さい。
自薦・他薦の講師も募集中です。

三々々が運営方針です。

》》》》》》》》》》 今後のカリキュラム 《《《《《《《《《《《《

- 2月 6日「健康で長生き」 廣野 惠三 氏 (医学博士)
- 2月20日「チェチェンで何が起きているのか」 林 克明 氏 (フリージャーナリスト)
- 3月 6日「台所の科学-大根おろしは本当に消化に良い？」 畑中 忠雄 氏 (山梨大学非常勤講師)

* 講義の時間は午後2～4時。場所は小金井工業高校会議室です。
 * 7周年記念講演と祝賀会は4月17日開催の予定です。
 * 学生会員として登録されますと、カリキュラムを郵送します。
 会費年間2000円。

役員メンバーを紹介します

学 長	田部井文雄	理事	田中 昂	理事	仙石善四郎
代表理事	五十嵐京子	同	田中留美子	監査	内藤 治誠
理事	白井 康敬	同	亘理 鐵哉	同	星野 静子
同	村杉 清和	同	森内 正身		

☆ ☆ ☆ ☆ ☆

設立趣意書(抜粋)

経済的には豊かになった生活の中に、見落とされてきた生きがいや心の問題など、あらためて一人一人が自分に問い直していく時ではないかと考えます。

今、日本では、急速に高齢社会を迎えようとしており、六〇才定年退職者の場合で言えば、地域とのかかわりを持つ場作りが求められ、子ども達を取り巻く環境も、私たちに何を学ぶべきかという問題を投げかけているようです。女性たちの場合は、自分自身の世界を作るための生き方志向が平等社会の一因として期待されています。働き盛りの世代の人々も含め、すべての世代の人々が本当の豊かさとは何かを模索し、充実した生き方を作る時代であろうと思えます。

一人一人が時には学び、時には教える側に立ち、しかも大学に集う者が、学び、集まり、つながる機会作りにもなるように、誰もが親しみのもてる雑学大学としたいと考えております。

『小金井雑学大学』の目的

―学則第二条より―

「本学は、地域住民の学習ニーズに応ずる課題・内容を自由に創れる学習の場として、住民にいつでも自由に参加できる機会を提供し、心に豊かさのある生活の享受と地域住民の交流に寄与することを目的とする。」

編集後記

講義の記録をたよりに載せ会員の皆様に送り続けたいと思っておりますが、多忙になり途中で断念せざるを得ませんでした。市民の自主的な雑学大学の活動に、一緒に参加してお手伝いして下さる方を募っております。活動の範囲は無限と言っても良いでしょう。楽しい新たな企画の可能性も参加者次第です。

発行責任者 五十嵐京子
 小金井市本町
 TEL&FAX